

## 2016年 首都圏域地震発生状況 (Hi-Netデータより)

2016年12月24日

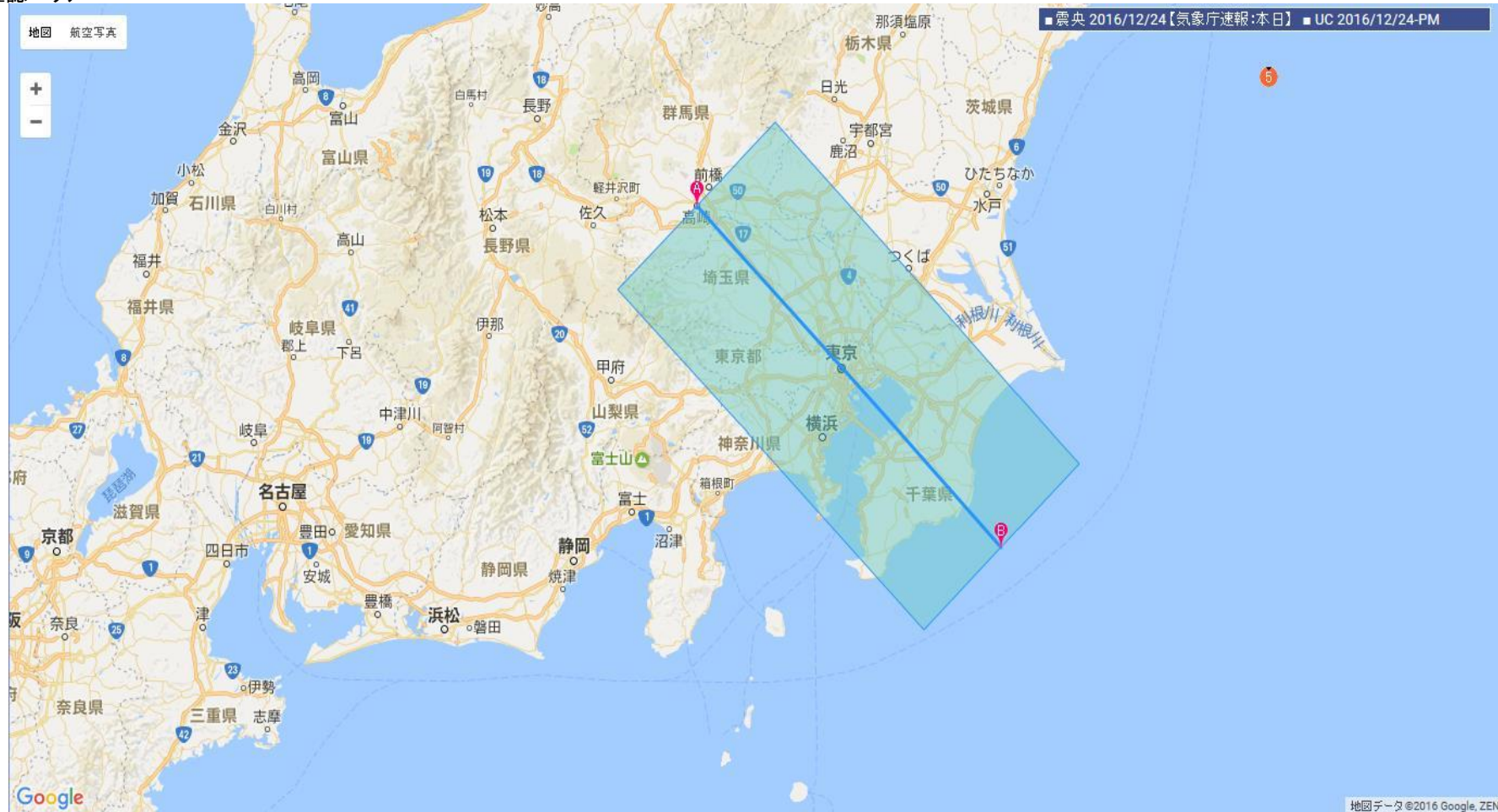
MADS

Data Credit:防災科学研究所Hi-Netデータ

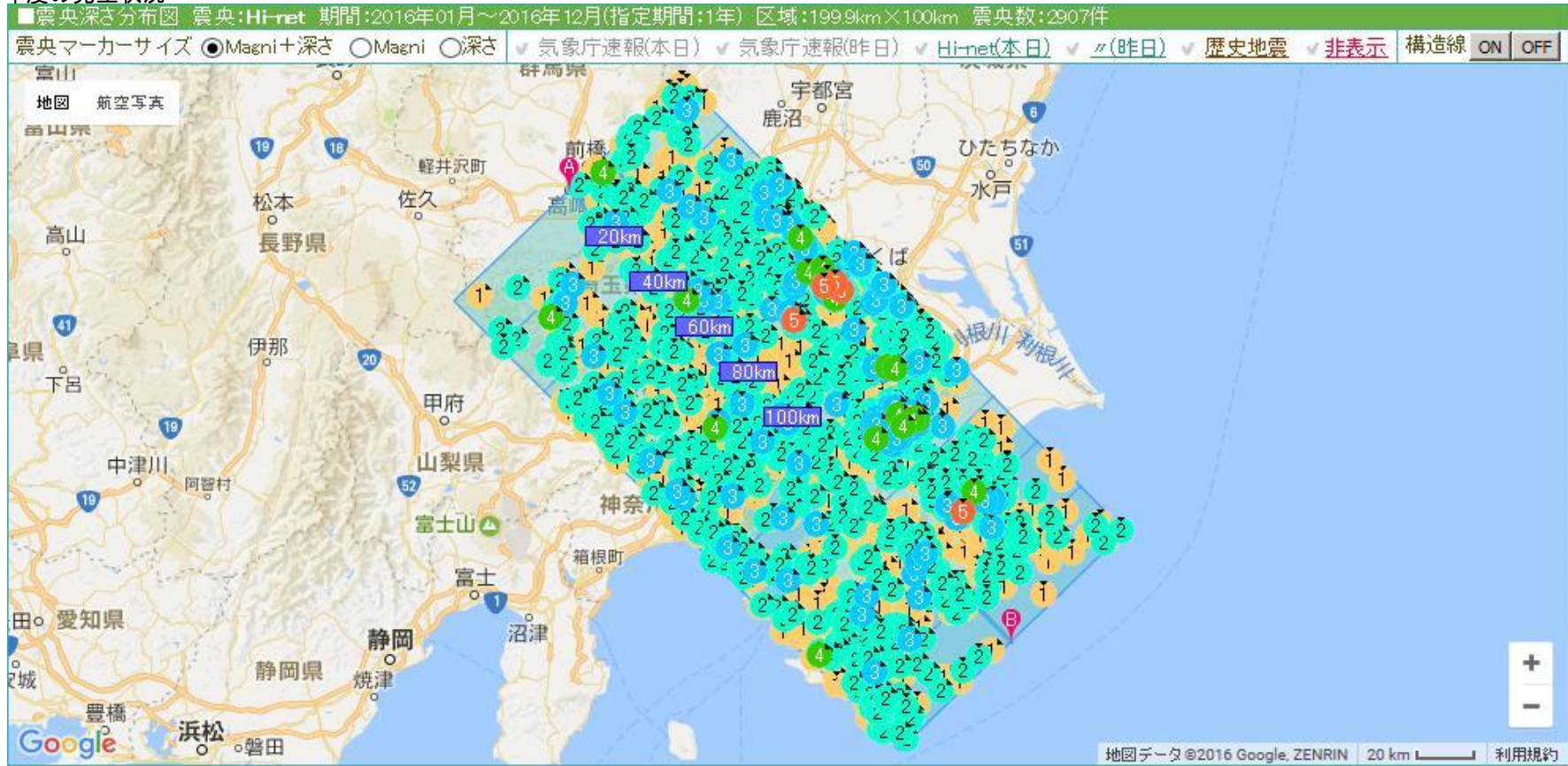
集計ソフト:地震前兆観測MAPを使用

関東首都圏域を中心とした2016年の地震発生状況より、FM空間電界変動観測の参考資料として確認してみました。過去の発生状況を見ても、概ね発生状況は同じ状況にあり、本内容を参考に、観測地域及びルートを配慮すると良いデータが取れるのではと考えます。また、自局の地域がどのような地域にあるのかを考慮して、観測方法等を検討してみると面白い結果を得られるのではないのでしょうか。

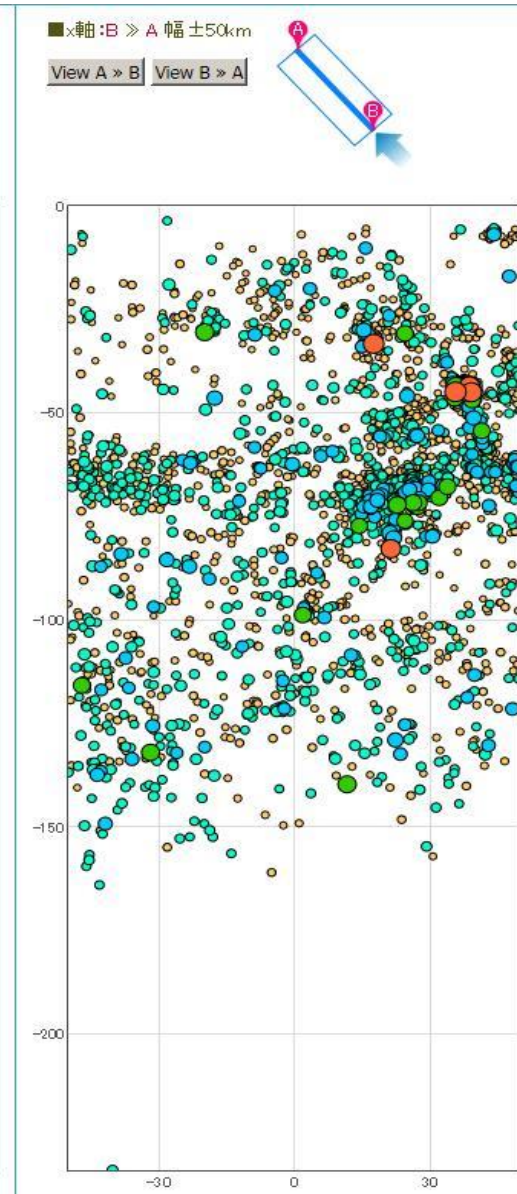
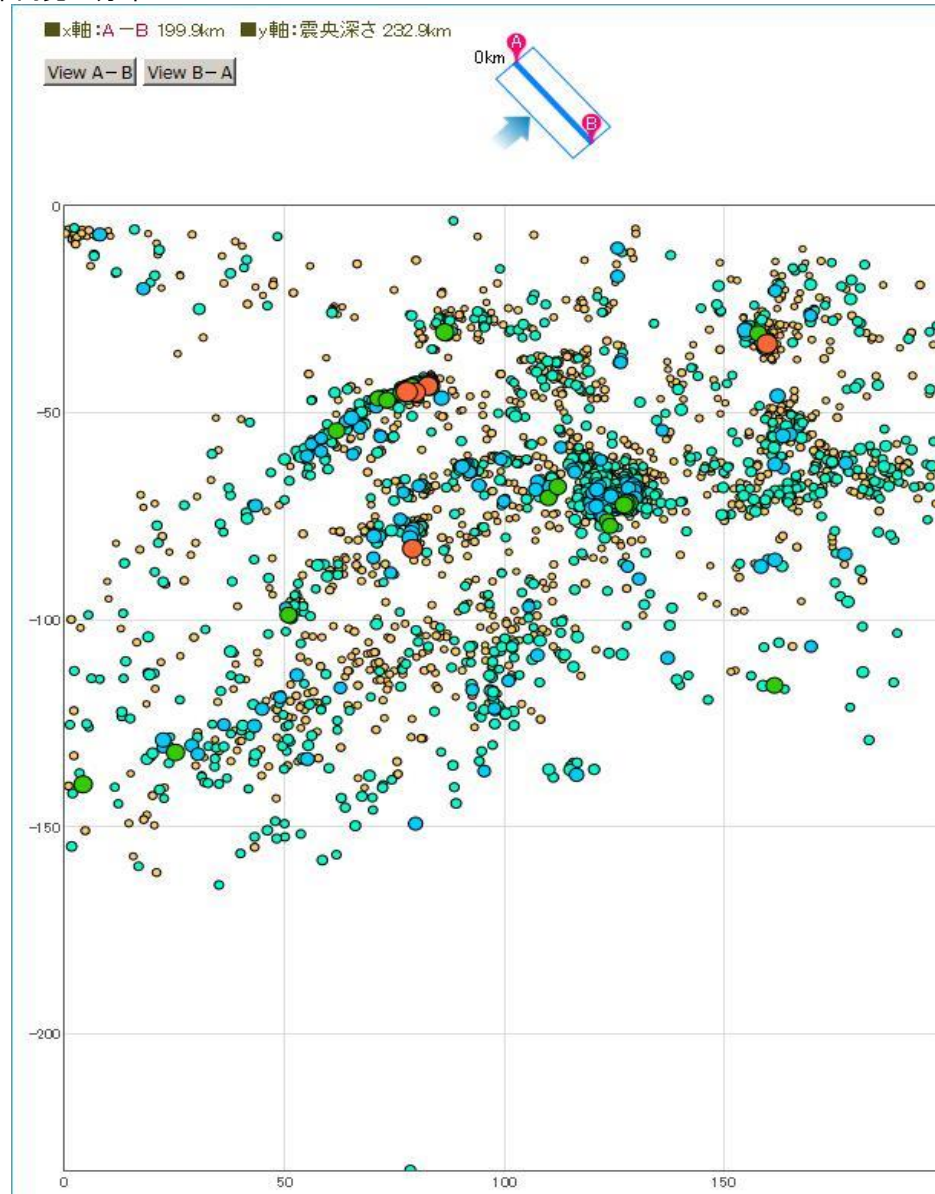
### 確認エリア



### 本年度の発生状況



# 地中内発生分布

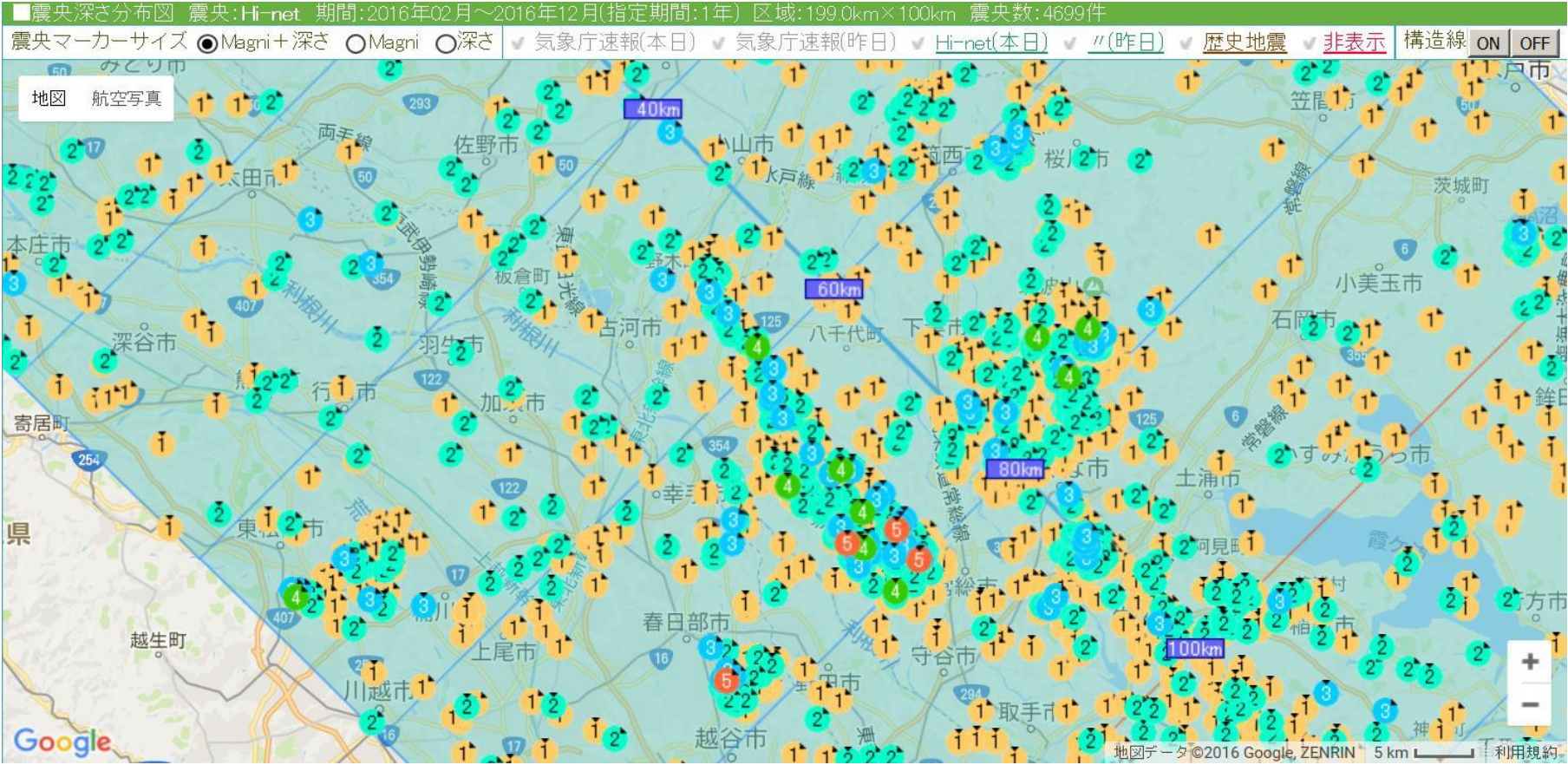


・プレートの沈み込みを考慮した方向にて表示しています

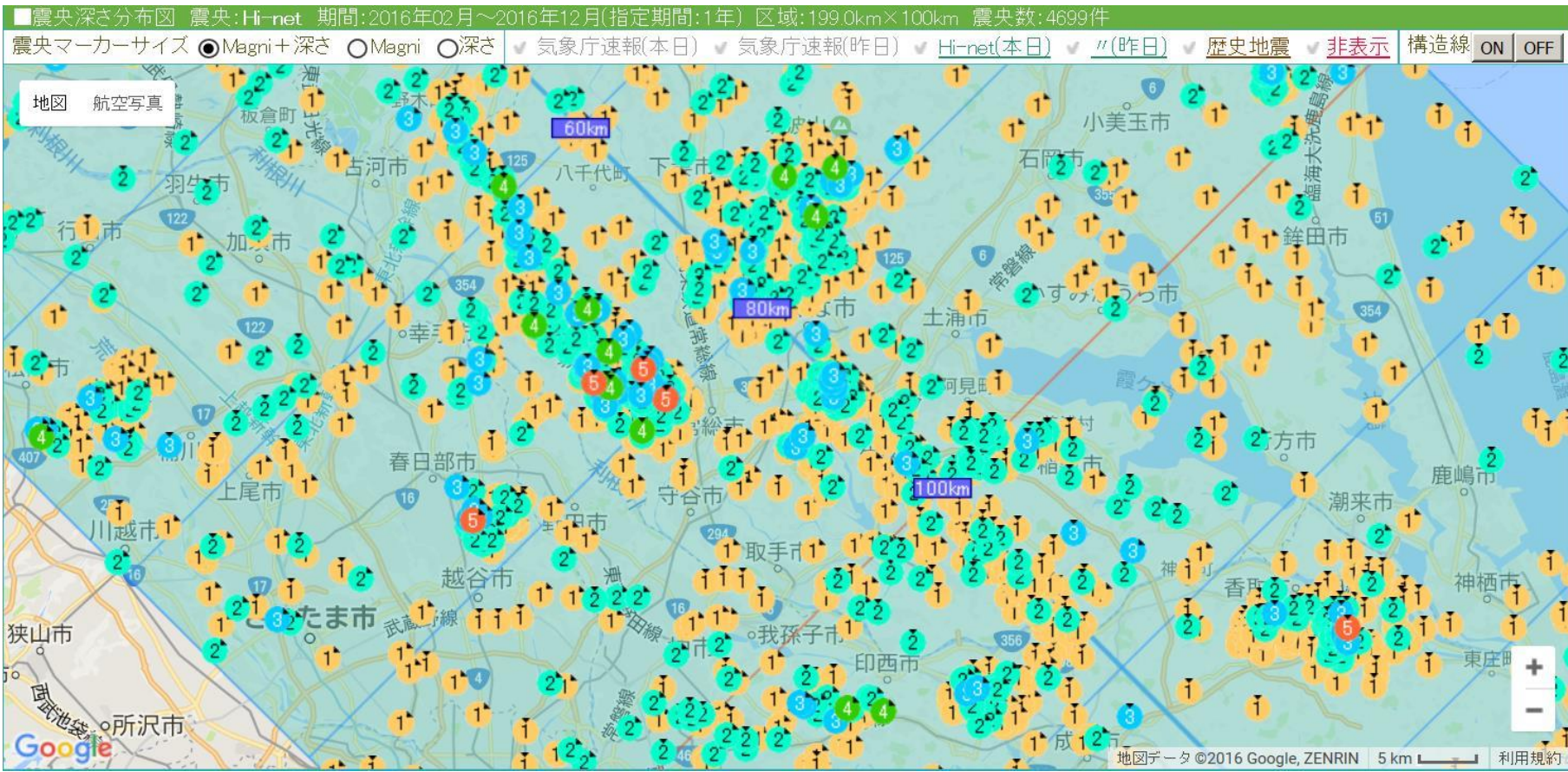
## 確認時の注意点

- ・発生集中域
- ・空白域
- ・発生深度



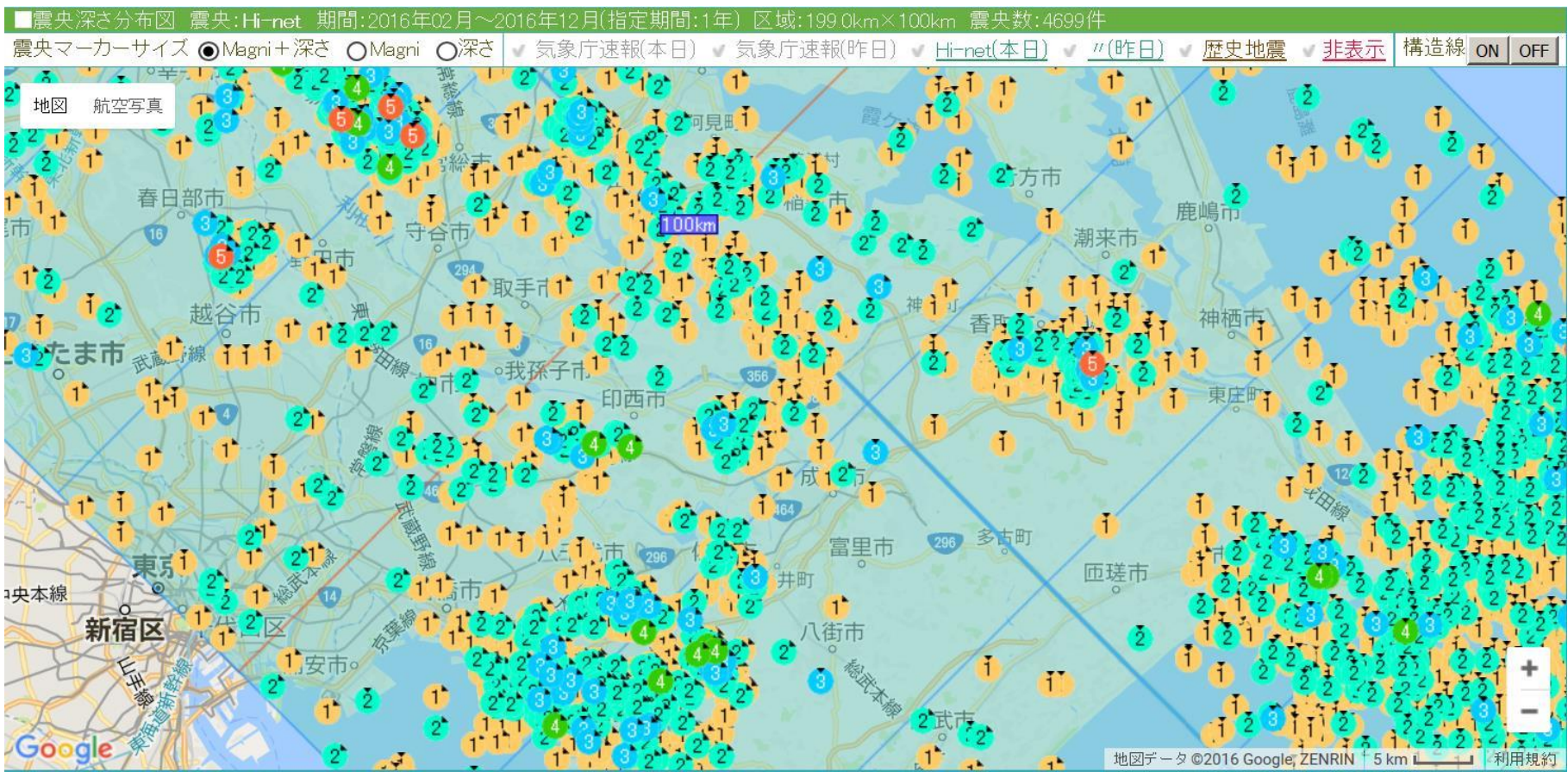


空白域及び発生集中域に注意



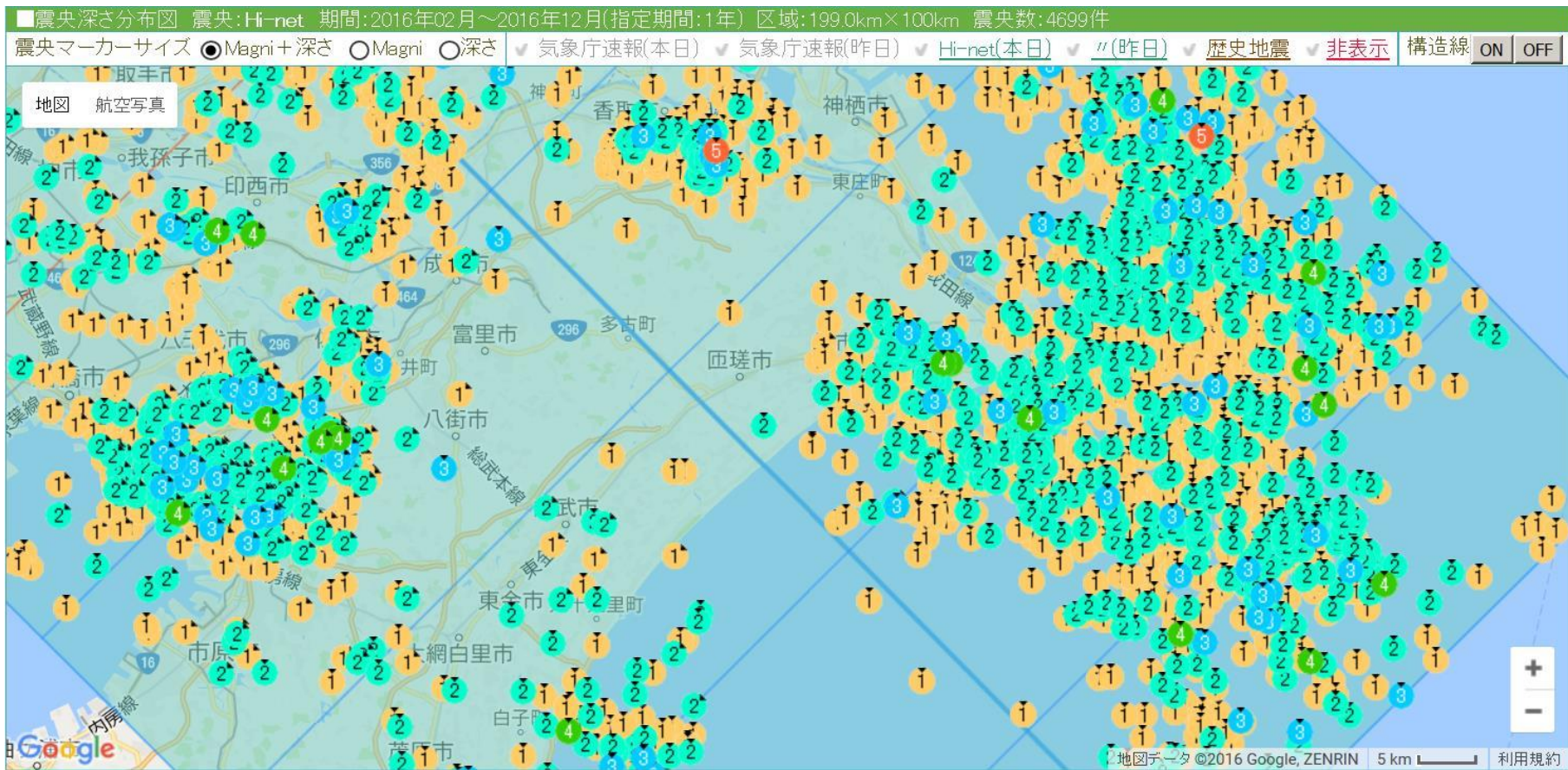
空白域及び発生集中域に注意

- \* 常総市付近より北西に延びる集中帯
- \* つくば市～下妻市周辺
- \* 香取市周辺



空白域及び発生集中域に注意

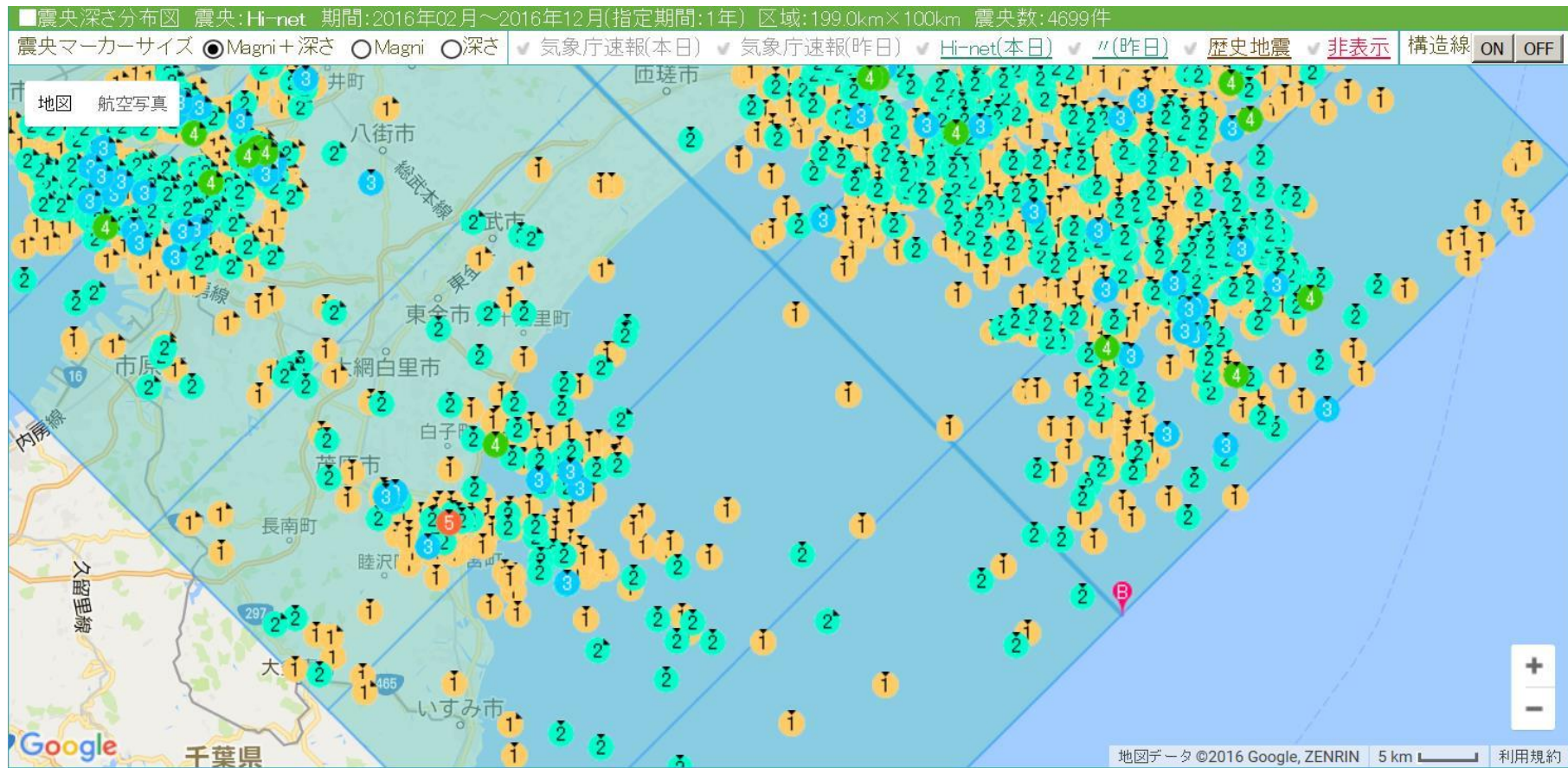
\* 千葉市周辺



空白域及び発生集中域に注意

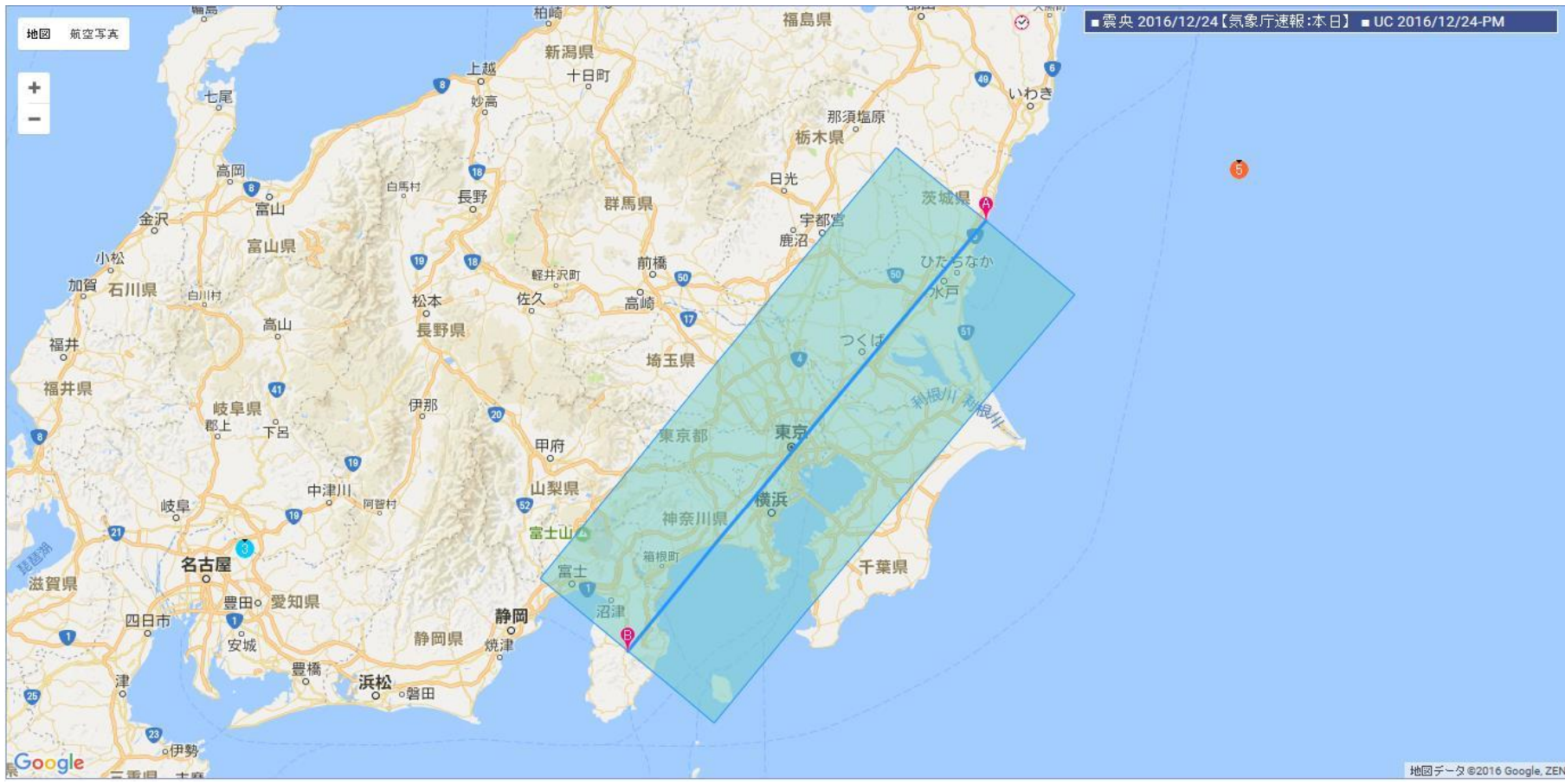
多古町を中心とした空白域  
 多古町～東庄町にかけての分断空域(銚子域と香取市域の集中帯を分断)





空白域及び発生集中域に注意

\* 銚子活動域と白子町周辺活動域の間に広がる空白域



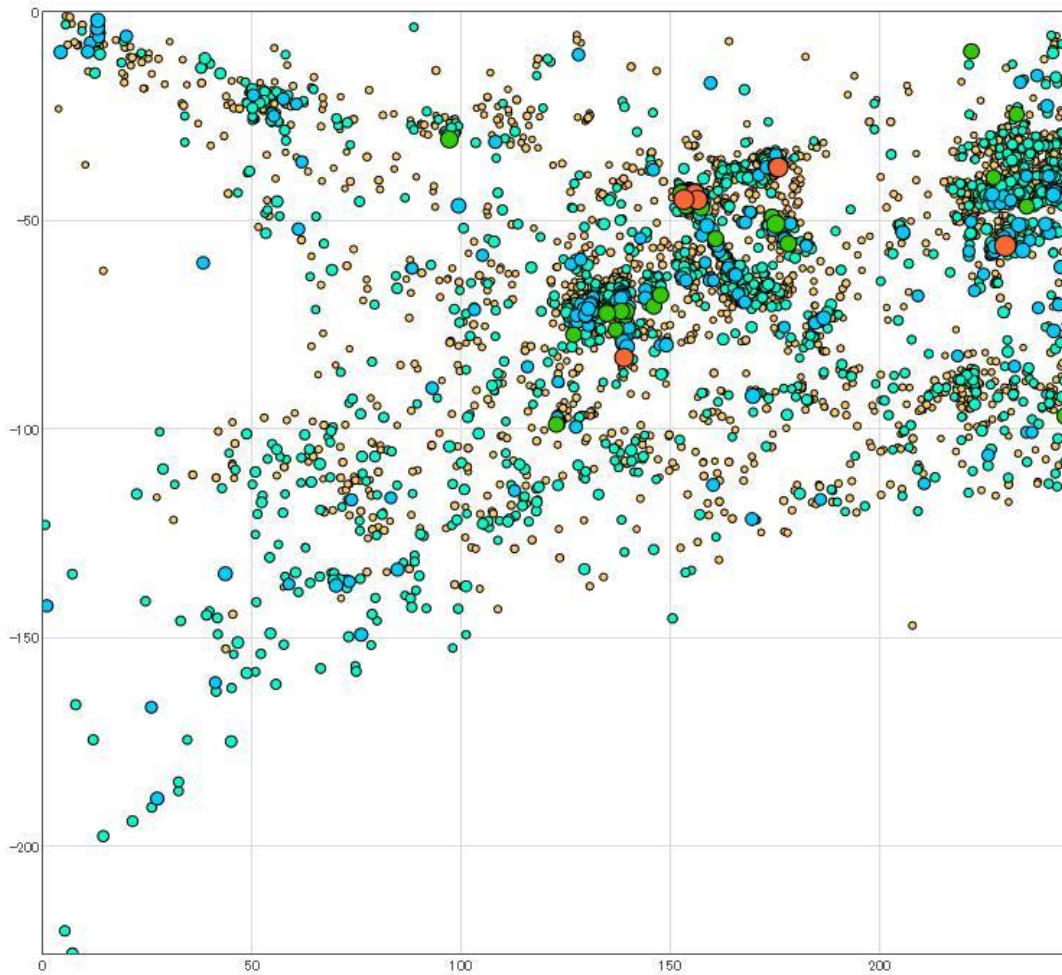
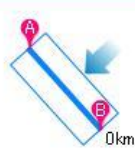
震央深さ分布図 震央:Hi-net 期間:2016年02月~2016年12月(指定期間:1年) 区域:245.9km×100km 震央数:4418件  
 震央マーカーサイズ ●Magni+深さ ○Magni ○深さ 気象庁速報(本日) // (昨日) Hi-net(本日) // (昨日) 歴史地震 非表示 構造線 ON OFF



# 地中内分布

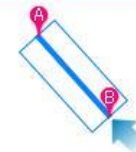
■x軸: B - A 245.9km ■y軸: 震央深さ 225.6km

View A - B View B - A



■x軸: B >> A 幅±50km

View A >> B View B >> A

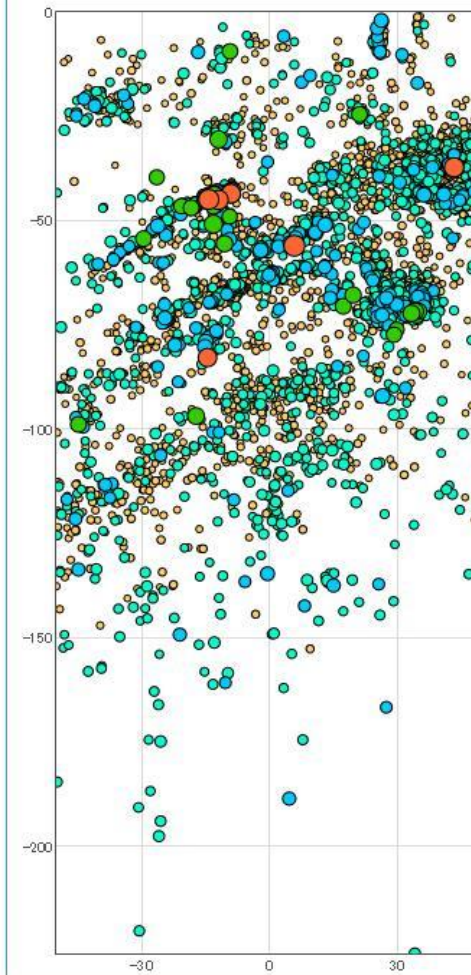


プレートの沈み込みを考慮した方向にて表示しています

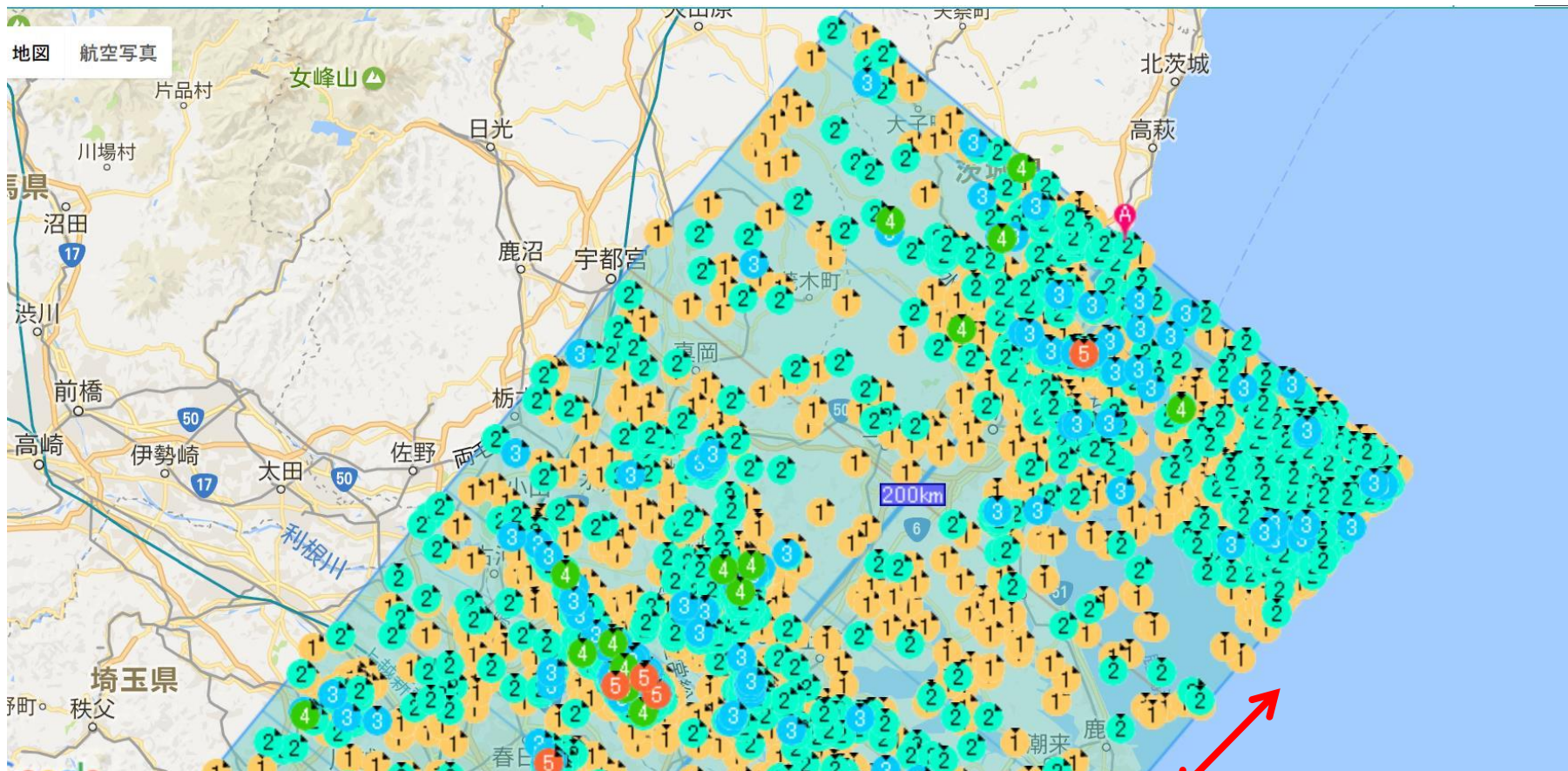
## 確認時の注意点

- ・発生集中域
- ・空白域
- ・発生深度

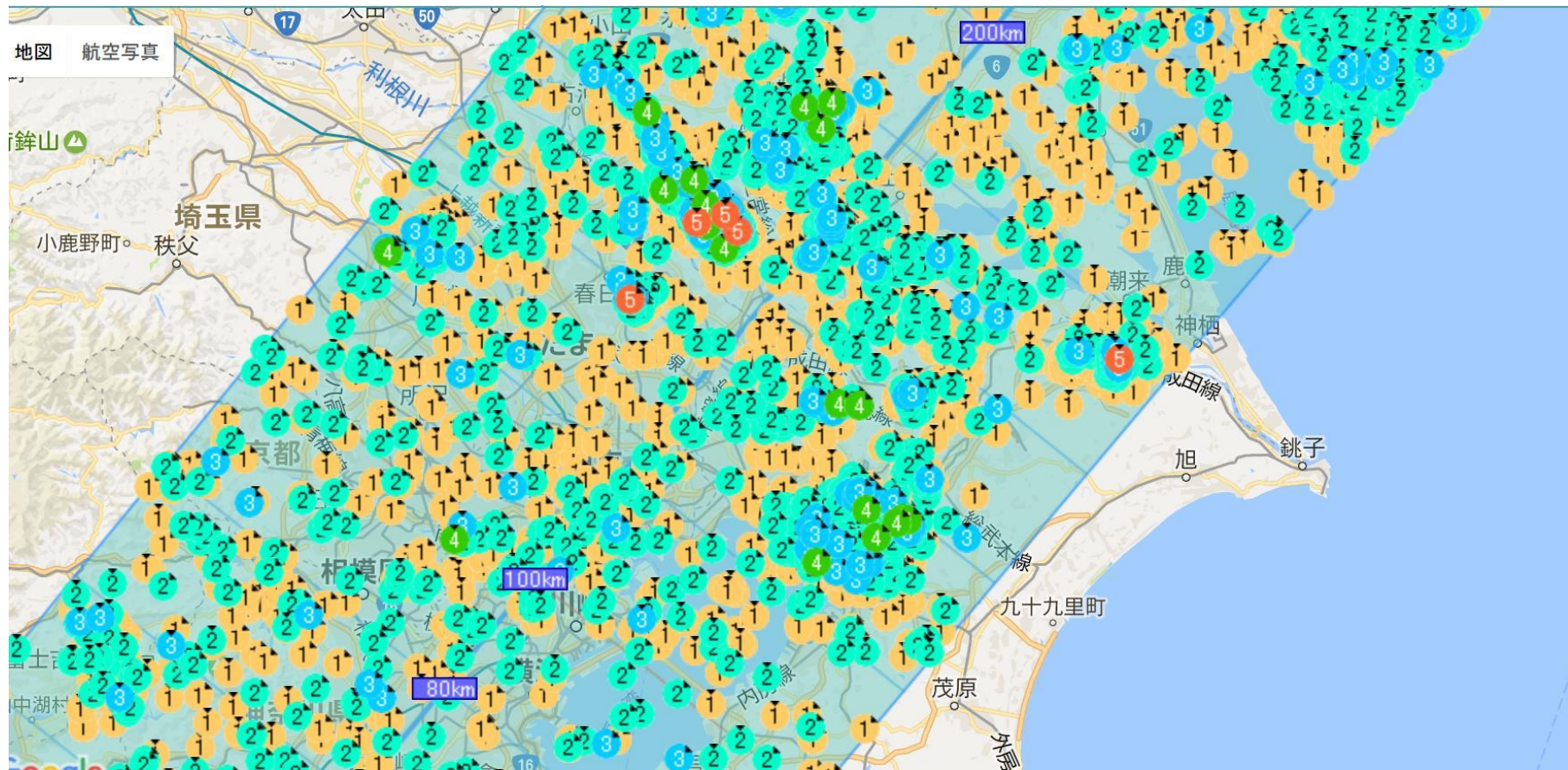
空白域要注意



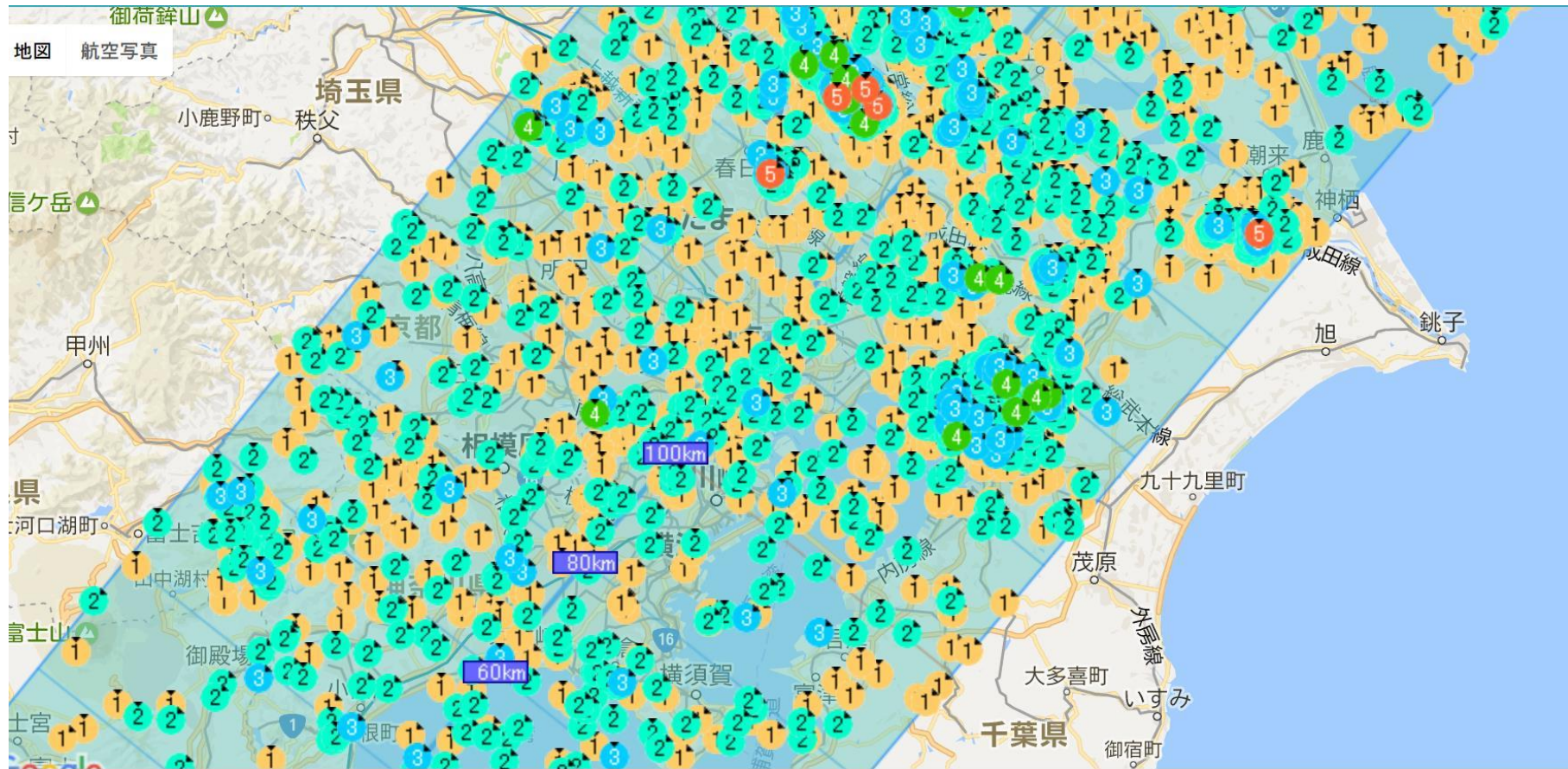
注 距離表示がB地点となっています



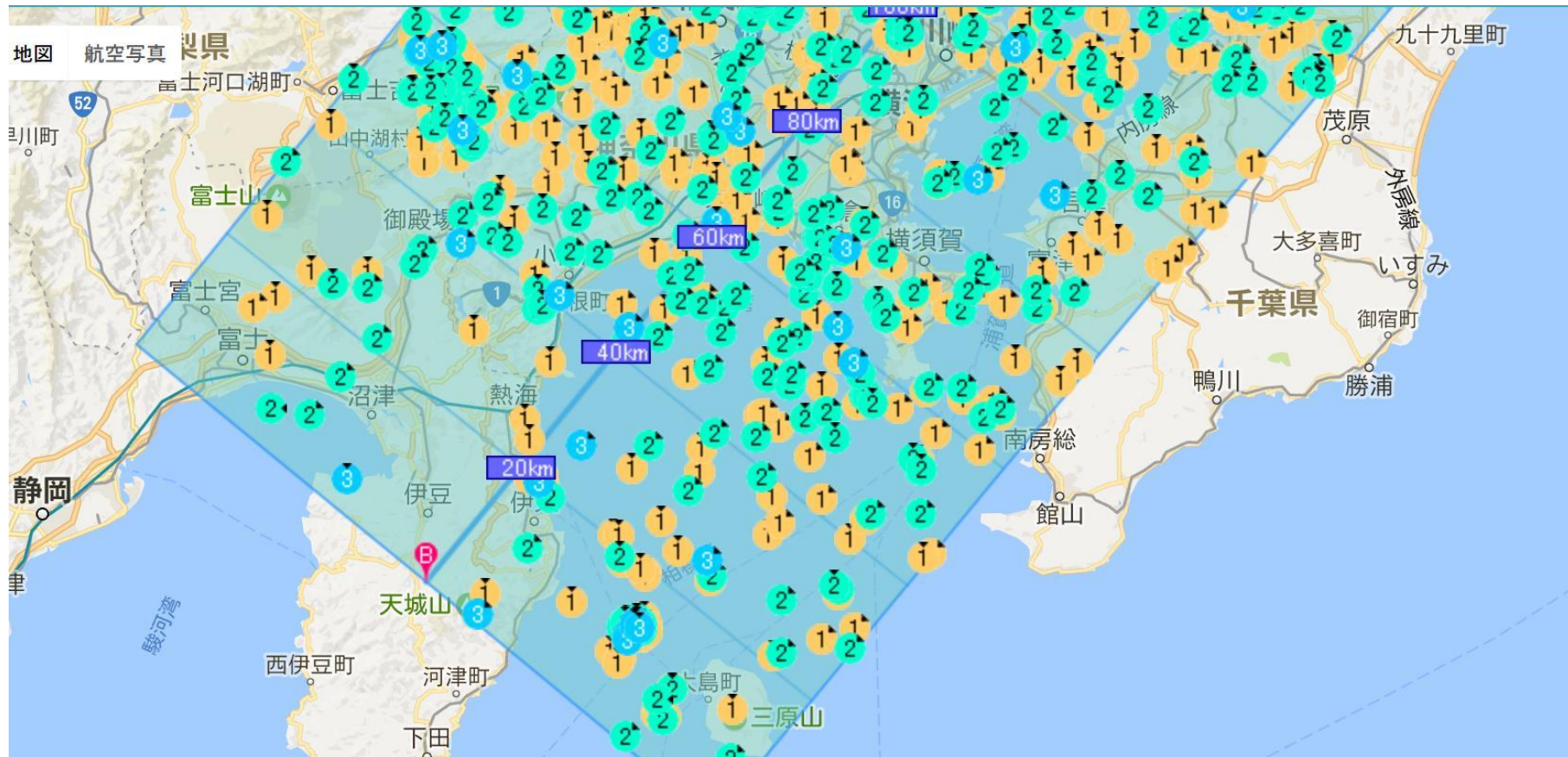
空白域及び発生集中域に注意



空白域及び発生集中域に注意

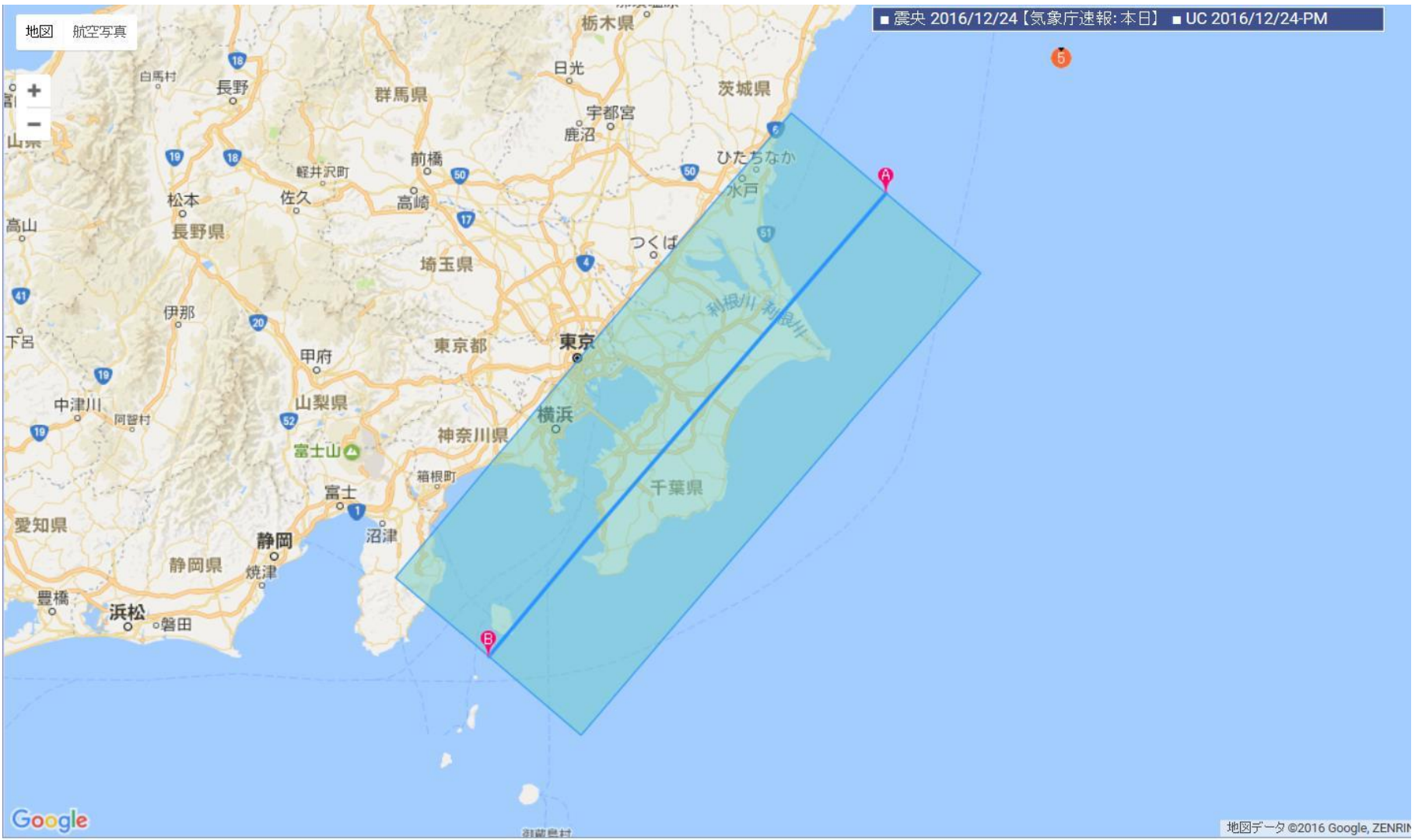


空白域及び発生集中域に注意



空白域及び発生集中域に注意

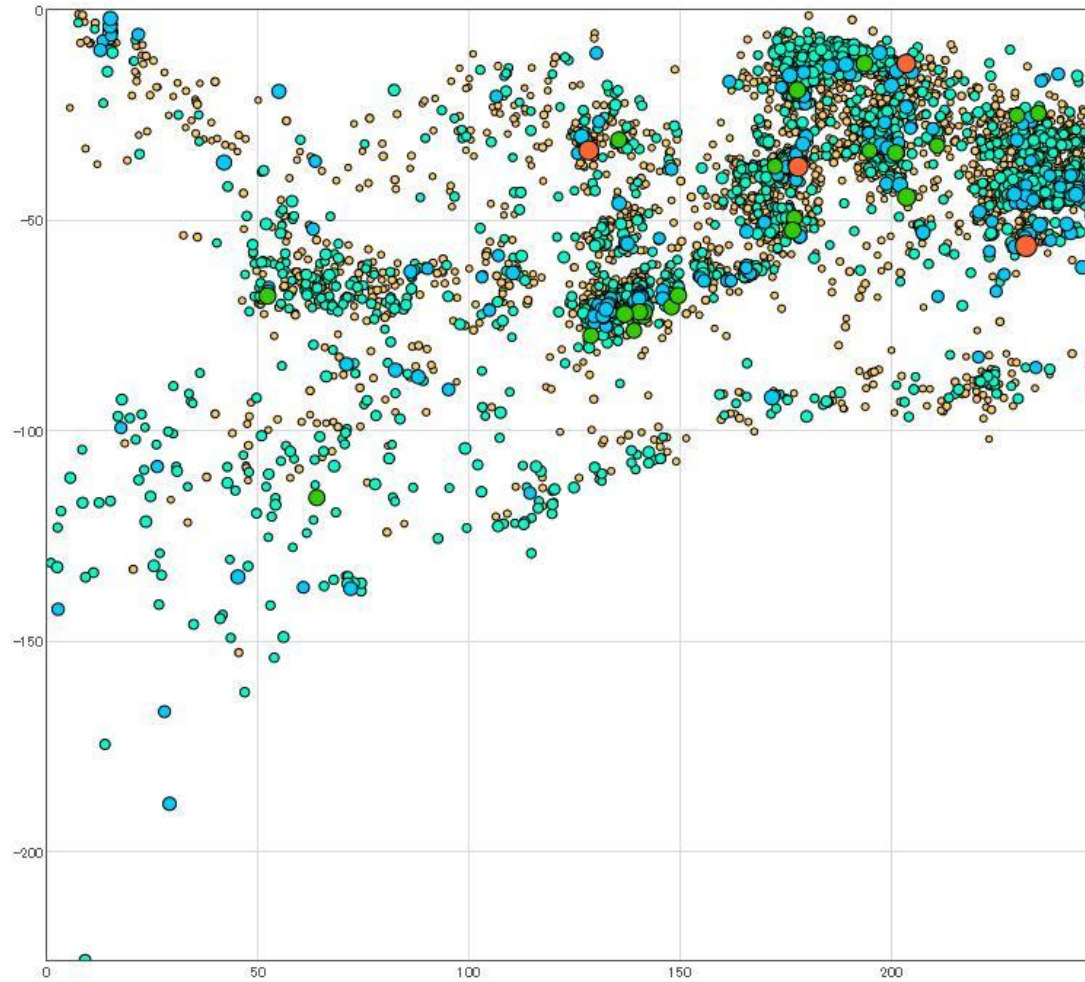
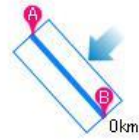




## 地中内分布

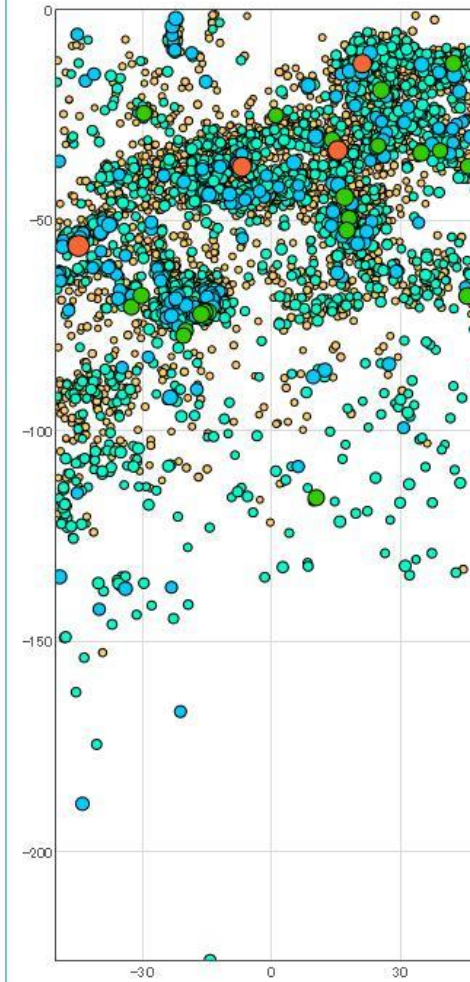
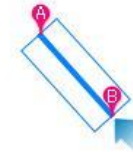
■ x軸: B ← A 248.5km ■ y軸: 震央深さ 225.6km

View A → B View B → A



■ x軸: B ≧ A 幅 ±50km

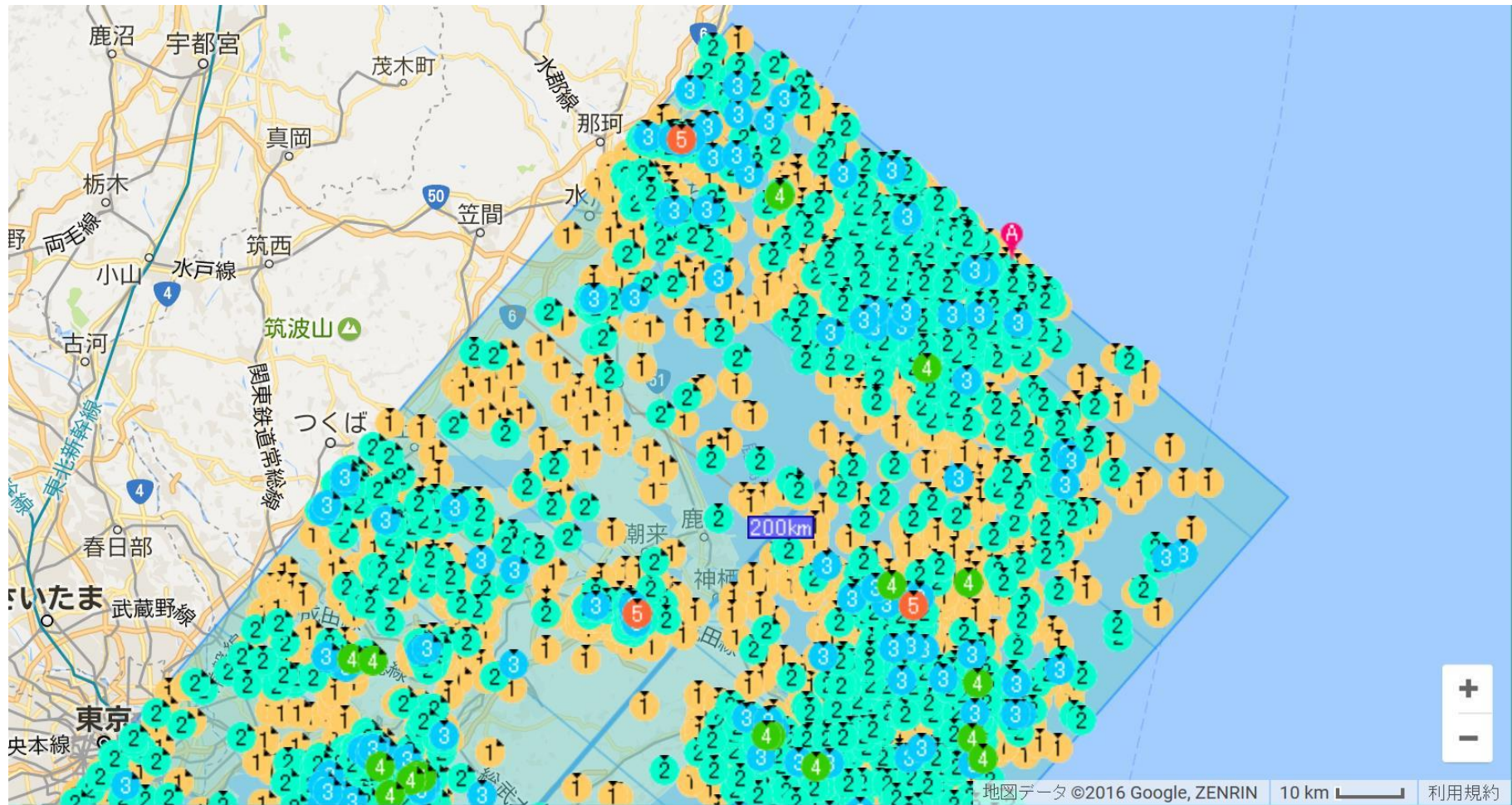
View A ≧ B View B ≧ A



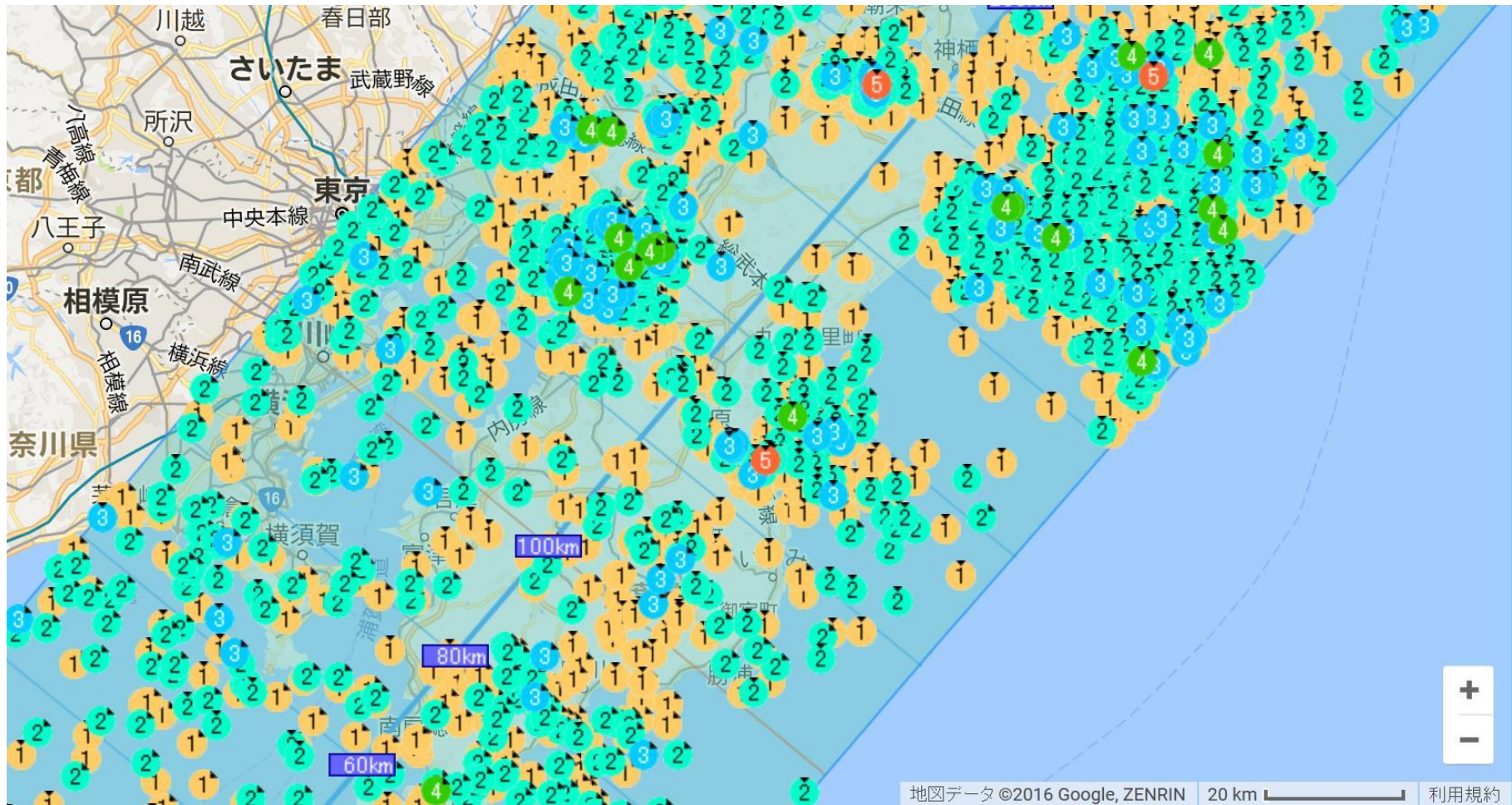
・プレートの沈み込みを考慮した方向にて表示しています。

確認時の注意点

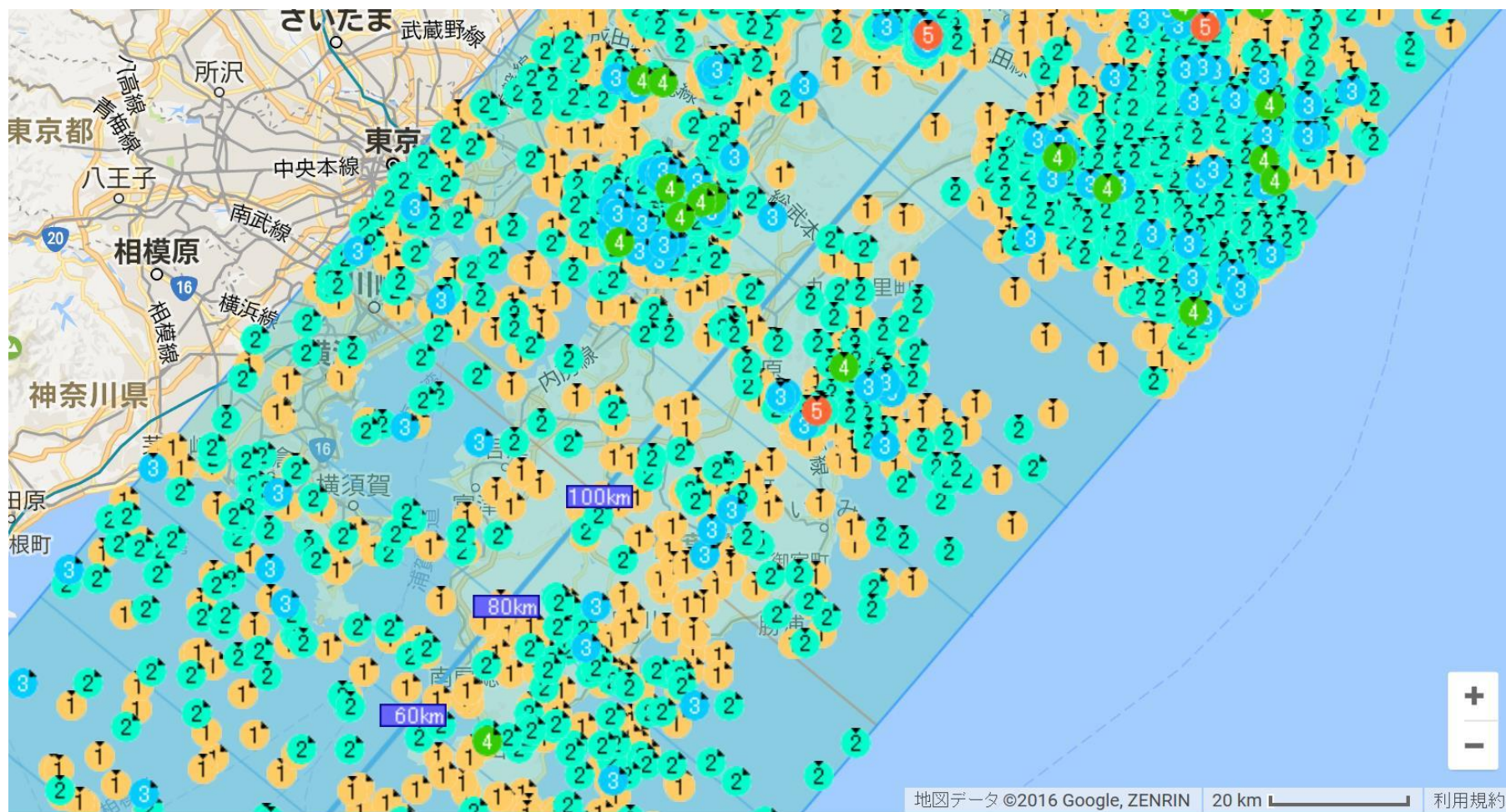
- ・発生集中域
- ・空白域
- ・発生深度



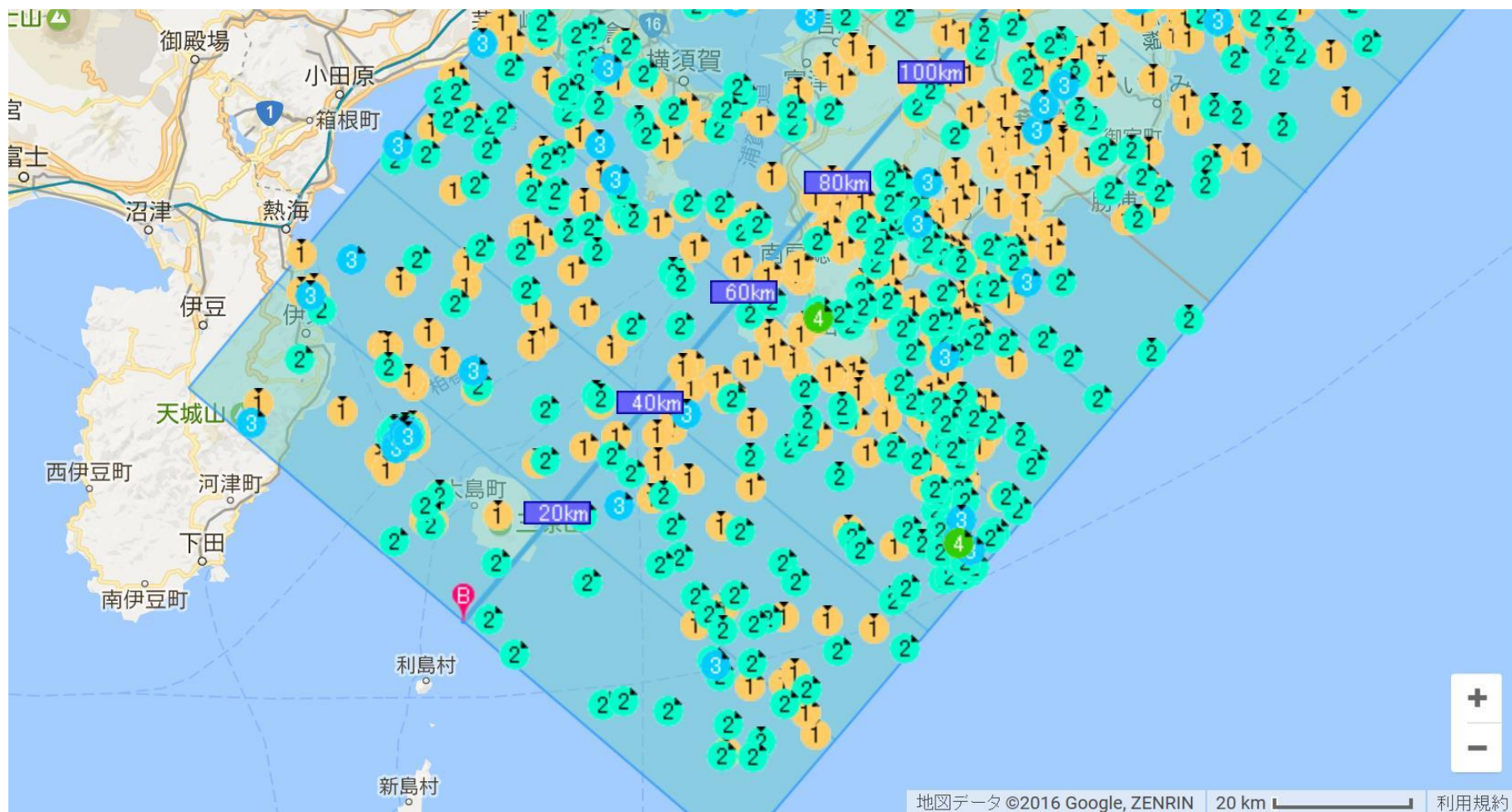
空白域及び発生集中域に注意



空白域及び発生集中域に注意



空白域及び発生集中域に注意



空白域及び発生集中域に注意